

令和4年度第5回 うべ未来モニターアンケート集計結果

1 アンケートのテーマ

『障害のある人への理解について』

- (1) 実施期間 令和4年9月5日（月）～9月19日（月）まで
- (2) 担当部署 障害福祉課

2 モニター数・アンケート回答者数

- (1) メール・郵送文書到達モニター数 795 人
- (2) 回答者数（回答率） 355 人（44.7 %）

3 回答者の属性

※ 端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	2 人	0.6 %	
20歳代	1 人	0.3 %	
30歳代	26 人	7.3 %	<div style="width: 7.3%;"></div>
40歳代	53 人	14.9 %	<div style="width: 14.9%;"></div>
50歳代	58 人	16.3 %	<div style="width: 16.3%;"></div>
60歳代	84 人	23.7 %	<div style="width: 23.7%;"></div>
70歳代	117 人	33.0 %	<div style="width: 33.0%;"></div>
80歳代	14 人	3.9 %	<div style="width: 3.9%;"></div>

355 人

ご協力、ありがとうございました。



【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	23人	6.5%	
西岐波	24人	6.8%	
恩田	36人	10.1%	
岬	15人	4.2%	
見初	10人	2.8%	
上宇部	33人	9.3%	
神原	12人	3.4%	
琴芝	20人	5.6%	
新川	16人	4.5%	
鵜の島	10人	2.8%	
藤山	16人	4.5%	
原	7人	2.0%	
厚東	3人	0.8%	
二俣瀬	4人	1.1%	
小野	10人	2.8%	
小羽山	13人	3.7%	
常盤	16人	4.5%	
川上	12人	3.4%	
厚南	17人	4.8%	
西宇部	20人	5.6%	
黒石	11人	3.1%	
船木	6人	1.7%	
万倉	5人	1.4%	
吉部	10人	2.8%	
在学・在勤	6人	1.7%	

N=355

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	166人	46.8%	
男性	189人	53.2%	

N=355

4 回答集計

- ※ 比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。
- ※ 単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『障害のある人への理解について』

担当部署 障害福祉課

アンケートの趣旨

本市では、障害のあるなしにかかわらず、お互いの個性を認め合い、いきいきと安心して暮らせる地域共生のまちづくりを進めています。市民の皆様のご意見を今後の障害福祉施策に活かしていくため、本アンケートへご協力をよろしくお願いいたします。

問1 あなたは障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたことがありますか。(いずれかに○)

項目	回答者数	比率	グラフ
1. ある →問1-1へ	268人	75.5%	
2. ない →問1-2へ	87人	24.5%	

N=355

問1-1 問1で「1. ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような思いや状況からですか。(あてはまるものすべてに○)

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 困っているときはお互い様という気持ちから	187人	33.0%	
2. 身内などに障害のある人がいて、その大変さを	71人	12.5%	
3. 自分の仕事に関連して	80人	14.1%	
4. 近所付き合いや親戚付き合いなどで	75人	13.2%	
5. 将来、自分も障害を持つ可能性があるから	71人	12.5%	
6. 特に理由はない	73人	12.9%	
7. その他	10人	1.8%	
8. わからない			

N=567

問1-2 問1で「2. ない」と答えた方にお聞きします。手助けをしたことがない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

項目	回答者数	比率	グラフ
1. たまたま機会がなかったから	73人	56.2%	
2. どのように接したらよいかわからなかったから	20人	15.4%	
3. お節介になるような気がしたから	15人	11.5%	
4. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	11人	8.5%	
5. 特に理由はない	9人	6.9%	
6. その他 ()	2人	1.5%	
6. その他 ()	<ul style="list-style-type: none"> ・何度かお声掛けをしたことはあるが、大丈夫ですと断られた。 ・気軽に話すつもりだが、相手がどう受けとるかはわからない。 		

N=130

問2 あなたは障害者理解に関する研修会や講演会に参加したことがありますか。(いずれかに○)

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 参加したことがある	160人	45.1%	
2. 参加したことはない	195人	54.9%	

N=355

問3 あなたは「宇部市障害のある人へのコミュニケーション支援条例」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 内容も知っている	51人	14.4%	
2. 言葉は聞いたことがある	97人	27.3%	
3. 知らない	207人	58.3%	

N=355

問4 あなたは「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 内容も知っている	74 人	20.8 %	
2. 言葉は聞いたことがある	136 人	38.3 %	
3. 知らない	145 人	40.8 %	

N=355

問5 障害者差別解消法では、障害のある人がない人と同じように生活するために、過大な負担とならない範囲で配慮や工夫を行う「合理的配慮」が求められています。あなたはこのような「合理的配慮」について知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

※「合理的配慮」とは、障害のある人とない人の平等な機会を確保するため、障害のある人の特徴や場面に応じて発生する障害や困難さを取り除くための調整や変更のことです。

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 内容も知っている	78 人	22.0 %	
2. 言葉は聞いたことがある	126 人	35.5 %	
3. 知らない	151 人	42.5 %	

N=355

問6 あなたは地域社会の中で障害のある人に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. かなり進んできた	34 人	9.6 %	
2. どちらかといえば進んできた	218 人	61.4 %	
3. 変わっていない	62 人	17.5 %	
4. どちらかといえば後退している →問6-1へ	2 人	0.6 %	
5. 後退している →問6-1へ			
6. わからない	39 人	11.0 %	

N=355

問6-1 問6で「4. どちらかといえば後退している」「5. 後退している」と答えた方にお聞きします。なぜ、そのように思われたのか、ご記入ください。

- ・歩行者（健常者、障害者ともに）のための道路設備が、近隣自治体に比べて著しく劣っている（遅れている）。
- ・宇部市は前向きではない。やっではいるが、目的が障害者のためになっていない。上辺だけ。

問7 あなたは地域社会の中で、障害があることを理由にする差別があると思いますか。（いずれかに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. ある →問7-1へ	268 人	75.5 %	
2. ない →問8へ	87 人	24.5 %	

N=355

**問7-1 問7で「1. ある」と答えた方にお聞きします。
それはどのような状況や場面で感じますか。（あてはまるものすべてに○）**

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 仕事や収入	221人	24.7%	
2. 教育の場	98人	10.9%	
3. 人間関係	122人	13.6%	
4. 冠婚葬祭	40人	4.5%	
5. スポーツ・趣味の活動	63人	7.0%	
6. 地区の行事・集まり	45人	5.0%	
7. 施設等の整備	129人	14.4%	
8. 店などでの対応・態度	71人	7.9%	
9. 交通機関の利用	101人	11.3%	
10. その他(具体的に)	6人	0.7%	
10. その他(具体的に)			
<ul style="list-style-type: none"> ・働く意欲のある人への賃金のアップ(就労AとかB) ・区別と差別の区分は難しいが、得られるチャンスの幅には、見えない壁があるように感じているから。 ・生活環境において。 ・具体的にはわからないが、こういう話題があることそのものが、差別があるということでしょう。 ・人によって差別の基準は違う。 			

N=896

問8 あなたは、障害者手帳等をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 身体障害者手帳	8人	2.3%	
2. 療育手帳	2人	0.6%	
3. 精神障害者保健福祉手帳			
4. 難病	6人	1.7%	
5. 持っていない	339人	95.5%	

N=355

問8-1 問8で「1. 身体障害者手帳」「2. 療育手帳」「3. 精神障害者保健福祉手帳」「4. 難病」と答えた方にお聞きします。あなたは、どのような社会活動に参加したいと思いますか。（あてはまるもの3つ以内に○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 障害者団体の活動	3人	13.6%	
2. スポーツ観戦	5人	22.7%	
3. 障害者との交流会	1人	4.5%	
4. イベント	2人	9.1%	
5. スポーツ(サークル)活動	1人	4.5%	
6. 地域で行われるまつり	1人	4.5%	
7. 自治会など地域での集会	1人	4.5%	
8. 楽器演奏	2人	9.1%	
9. 文化活動(華道・絵画・写真など)	3人	13.6%	
10. その他(具体的に)	1人	4.5%	
11. 参加したいと思わない	2人	9.1%	
10. その他(具体的に)			
<ul style="list-style-type: none"> ・(1)ではあるが、別に不便は感じていない。 			

N=22

**問9 あなたは、宇部市が障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)**

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 思う	13 人	3.7 %	
2. やや思う	144 人	40.6 %	
3. あまり思わない	99 人	27.9 %	
4. 思わない	9 人	2.5 %	
5. わからない	90 人	25.4 %	

N=355

問9-1 問9で「1. 思う」「2. やや思う」「3. あまり思わない」「4. 思わない」と答えた方にお聞きします。何に関して、そのように思われますか。

(あてはまるもの5つ以内に○)

項目	回答者数	比率	グラフ
1. 相談窓口に関して	69 人	8.4 %	
2. 福祉についての情報の周知に関して	85 人	10.4 %	
3. 障害のある人が活動する場に関して	120 人	14.6 %	
4. ボランティア活動や人材育成に関して	79 人	9.6 %	
5. 障害のある人が利用できる福祉サービスに関して	92 人	11.2 %	
6. 保育や教育に関して	36 人	4.4 %	
7. 就労に関して	85 人	10.4 %	
8. 地域での生活に関して	75 人	9.1 %	
9. バリアフリーに関して	96 人	11.7 %	
10. 障害のある人に対する周囲の理解に関して	77 人	9.4 %	
11. その他(具体的に)	7 人	0.9 %	

10. その他(具体的に)

- ・生活圏内(居住地域)内における車椅子等による移動のしづらさ(地域に異なると思いますが)。
- ・障害のある方のための設備の整備は進みつつあるが、どこでも・どんな場面でもという状況ではない。
- ・他市町村と大差ないと思う。
- ・私は、他の自治体と比較したことがないが、他市に住む身内(身体障害者)が、宇部は支援体制が充実していると言っていた。
- ・公共交通機関の少なさ。
- ・地域住民との会話の中で、障害に対して配慮に欠ける発言が時にある。

N=821

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

自由記入の内容
別紙

担当部署による総括

「障害のある人に対する配慮や工夫が進んでいる」と答えた人が、令和3年度は68.1%であったのに対し、令和4年度では71%に増加しています。また、「障害があることを理由にする差別がある」と答えた人は、令和3年度のアンケートでは77.3%であったのに対し、令和4年度は75.7%に減少しました。しかしながら、「障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思う」と答えた人は令和3年度から1.5%増の44.3%でしたが、過半数以上が「わからない。そう思わない」という回答でした。自由記入欄でも「障害のある人への理解を深める機会が少ない」「講習会等の機会を広める必要がある」「障害のある人と触れ合う場面を増やしてほしい」「もっと啓発すべき」といった意見があり、理解を深めるための機会を増やすことが求められていることがわかりました。

今回いただいた様々なご意見を参考に、障害のある人にとって暮らしやすいまちとなるよう、障害のあるなしにかかわらず互いの個性を認め合い、誰もが安心して暮らせる地域共生のまちづくりの取組みを推進していきます。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
1.施設、設備等	男	70	車椅子が通れる歩道、信号の音声案内の増加、トイレ、センターへのエレベーター設置。
1.施設、設備等	男	80	障害者をもった家族が、周囲に気兼ねせずにゆっくりくつろげる空間があるといいですね。（例）飛行機や新幹線、電車
1.施設、設備等	女	60	公共施設に車椅子はあるのに、エレベーターがなく、車椅子を利用した人が2階に上がることが不便（ふれあいセンター等）。
1.施設、設備等	男	80	障害者にとって、やさしい町づくりは大変必要だと思う。なお、障害者に限らず、高齢化に伴うやさしい町づくりも必要と思う。例えば、地下道等のスロープをゆるやかにする。
1.施設、設備等	女	70	先日、視覚障害をお持ちの方とお話する機会があり、色々と日常生活でお困りの事をお聞きしました。特にお困りと感じている事に、交差点で音声信号が非常に少ないので、不安を感じていると話されていた。東岐波地区においても、特に大きな交差点では音声信号を早く設置していただくと、不安なく外出しやすくなると要望されておられた。
1.施設、設備等	男	70	エレベーターなど、バリアフリーの施設が不十分。特にふれあいセンターなど。
1.施設、設備等	男	70	都会に比べて、駅（鉄道）にエレベーターが設置されていないところが多いと思います。
1.施設、設備等	女	50	私の近所では、公共交通機関があまりなく、暮らしにくそうに感じます。そして、公共施設も古くからあるものが多く、体が不自由な人には不便ですし、改善があれば嬉しいと思います。
1.施設、設備等	女	60	公共施設のバリアフリー化などが、もう少し進めば良いと思います。
1.施設、設備等	男	70	ふれあいセンターのトイレは洋式化してほしい。また、避難所は1階に設置してください。あと、市民センターのフロント台の高さが高い。車椅子目線でないように思います。障害者の意見を聞いてみて改善してください。センター入口ドアの開閉についても、障害者の意見を聞いてみて改善してください。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
1.施設、設備等	男	60	真締川河川公園などは、車椅子で利用しにくいように感じる。もっとバリアフリー化を推進してほしい。車椅子が利用できるスロープの斜度も急な個所があると思う。
2.施策	女	50	障害ある子どもの学校が遠いと思う。地域で関わらないと地域の理解が得られない。
2.施策、教育等	女	60	<ul style="list-style-type: none"> ・働ける人の就労支援をしてほしい。 ・医療的ケア児童、生徒が、安心・安全に学校生活が送れるよう、人的配置と施設整備の充実を図ってほしい。医療機関との連携を図ってほしい。 ・障害のある人を受け入れてくれる医療機関を増やしてほしい（特に歯科）。行政からの指導が医療機関に行われていると思うが…。
2.施策、教育等	女	70	障害者の介護に携わっている知人がいる。話を聞くと想像以上に重い任務だと気がかりになる。聞いていて、「一人暮らしの障害者を介護・サポートする人の過重労働は何かならないのか〜?」と感じる。
2.施策、教育等	男	70	市内、地区、区域で施策に差がありすぎる。
2.施策、教育等	女	60	障害者の働く場所をもっと増やす必要があると思う。賃金格差にもしっかり取り組んでほしいと思います。
2.施策、教育等	男	70	さまざまな支援体制があると思うが、それは9時~17時の間の勤務時間内であって、24時間体制ではないように思う。土・日・祝日関係なく24時間365日体制でやられているのなら、知らないだけで失礼しました。

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.施策、教育等	男	60	<p>パラリンピックで活躍している選手を見ると感動します。障害者が普通に活動できるような施設等が、どのくらいあるのか知りませんが、障害を感じない感じさせない日常生活になることを希望します。</p> <p>高齢の身体障害者の割合が高いようですが、仕方がないこととはいえ、その割合を減らすため、定年退職前に本人、および宇部市、関係自治会、退職前の職場などと協議、または情報提供して、定年退職後における活躍の場所を提供するなど、健康寿命の延長に関する施策のさらなる推進を希望します。</p> <p>耕作放棄地を高齢者単独、もしくは関係自治体などと一緒にやって野菜作り、花育成、販売など、生涯現役の場づくりを検討願います。</p>
2.施策、教育等	男	50	<p>一般的に障害者や差別に否定的な様子がなく、社会や学校などの市民生活への受け込みについては平均よりは受入が進んでいると感じる。これからの世の中に向けて、宇部市の文化として更なる受け入れを進めていくべきと思う。障害者向けのバリアフリーも大切だが、まずは「こころ」づくり、心のバリアフリーも大切で、そのためには習うより慣れる。今いらっしゃる障害者、マイノリティの皆さんにどんどん表に出てもらい、外部の方、支援ビジネスなどを呼び込み、押し付けではなく、関係者がハッピーになるようなダイバーシティ拠点作り。補助金や支援に依存せず、みんなができることを持ち寄り支え合い、自律やリターンが期待できる取組を目指す。</p>

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.施策、教育等	女	40	<p>点字ブロックも市のあちこちにあるわけではないし、歩道も狭くて車椅子が通れない場所も多い。近々総合福祉会館が壊される話があるが、代替え案などが未だはっきりとないので、不安に思う障害者の方が多いです。本当に障害者の方の事を思うのなら、そういった不安も取り除くべき。</p> <p>あと、「障害のある人へのコミュニケーション支援条例」ですが知らない職員さんが多いです。以前、パンフレットの事をお尋ねしたら「え？それなんですか？」って言われました。しかも数名。条例なのに市役所の方は把握してないんだ…と思いました。このような市民アンケートの前に、職員さんの周知が先ではないのかな？と、ちょっと言わせていただきました。</p>
2.施策、教育等	女	70	<p>私は点訳のボランティアをしています。なので、視覚障害の方には他の人より関心があると思います。だから、町で視覚障害の方に出会ったら迷わず声をかけたり、同行を申し出て一緒に行き先までご案内することは、躊躇わずにできます。それと、とてもお年寄りの方とか、なんだかきつそうな方に出会ったときも声かけをして、お手伝いしましょうかと言います。</p> <p>でも、このアンケートを見ながら、他の障害を持っている方の事はあまりに知らないなあと痛感しました。それを、市民に周知して呼びかけを続けていくことが、福祉政策の役割ではないかと思います。知れば手も差し伸べられるし理解も進みます。</p>

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.施策、教育等	女	50	<p>一般的には、障害のある人に健常者と同じようにサービスをしたら良いと思うが、市の職員も会社の職員も極限まで減らされ、非正社員を多用してギリギリでしているので、なかなか余裕がないのではないかと。</p> <p>例えば、バスに乗車する場合も、ぜひ予約してもらい、その場合だけ職員2人以上体制にして介助するなどしないと、運転手さんに任せるのは無理だと思う。人繰りや手当をどうするか考える必要があるのでは。</p> <p>宇部市は、弱者に優しく予算を多く割いているが、ここ数年、若い共働きカップルが結婚すると宇部を出て、子育てに手厚い山口市などに家を建てている。障害者やお年寄りも大事だが、若者も大事にするということも考慮した予算を考えるべきと思う。</p>
2.施策、教育等	男	70	<p>宇部市は障害者福祉の充実度が高いように思います。障害者が一人になった際の自立時の生活費管理の問題解決に十分な配慮をお願い致します。</p>
2.施策、教育等	女	70	<p>普段の生活などで困っていることは何もないのに、障害の認定を受けているという家族の話聞いたことがある。境界は難しいと思うが、人それぞれ弱い所を抱えているので、公平になるようにしてほしい。インフラ整備などは、全ての人にとって都合が良いはずで。</p>
2.施策、教育等	女	70	<p>障害に対応した就労場所が、もっともっと沢山あればと思っている。収入も差がないように。</p>
2.施策、教育等	男	60	<p>障害のある方が、健常者と変わることなく、日常生活を送ることができるような社会をつくってほしい。</p>

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.施策、教育等	女	70	目に見える障害は分かりやすいが、体の中や精神的なものは分かりづらいし、当人も表に出したくないこともある。防災施策で、何か災害が起きた時、民生委員だけに個人情報知らされていると聞いた。ところが民生委員が被災したり、緊急で家族優先したりで対応できないとも聞く。本当は、普段から近所付き合いがあり、災害時には地域で声掛けして助け合うのが一番と思う。情報開示を拒む障害者（その家族）もいるというが、何とかならないだろうか。（これは障害者に限らず、外国人にとっても必要）
2.施策、教育等	女	50	障害といってもいろいろあります。知的や身体、ADHDなど。全ての方の理解は無理だと思っておりますが、もう少し相談窓口を増やしてほしいです。1番苦しいのは本人だと思います。親が生きてる間はどうかになりますが、その後の事を考えると恐ろしいです。
2.施策、教育等	女	30	仕事で障害者雇用を担当したことがあります。また、現在も障害を持った方とお仕事をする機会があります。その経験から思うのは、雇い入れる側の企業によって、障害に関する知識や理解度に大きな差があるということです。その差によって、活躍できる場も大きく違うということです。各企業の障害に対する理解が進めば、もっと多くの職種で活躍できるはずですし、評価や待遇の差も少なくできると感じています。
2.施策、教育等	男	70	宇部市の障害者に対する対応評価の現状が分かりません。もし、他市に比較してマイナスであれば、地域に対して取組みの要望や出前講座等の開催により、課題を共有し、共生に繋げる様に推進したいと思います。
2.施策、教育等	男	70	数少ない前市長の功績である障害者福祉については、これからも充実発展させていただきたいですね。

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.施策、教育等	女	30	発達障害グレーゾーンの子がいます。就学を控えています が、通級は現在人数が溢れていると聞きました。全体に行き 渡ると嬉しいです。
2.施策、教育等	男	60	障害者も自立の基本は生活費となると思います。そして、 成人であれば、それは労働による賃金収入が第一になると思 います。障害者の賃金はまだまだ低いし、また、賃金を得る 前の就労の機会も低いと思います。 次に、言葉の問題ですが、国がいつまでも「障害者」とい う「害」という漢字で使用していますが、そうではなくせめ て「がい」にすべきなのでは。特に、このようなアンケート を実施するならば、積極的に「害」の漢字は改めるべきだと 考えます。私自身としては、「発達のマイノリティ」、「身 体的マイノリティ」という言葉を使用することがよいのでは ないかと考えます。私自身は日頃からこの言葉を使用してい ます。
2.施策、教育等	女	50	行政の勉強が足りていない。何をもって、やっていますと言 うのでしょうか。関連の仕事をしていて、もどかしさしかあ りません。
2.施策、教育等	女	50	バリアフリーの充実
2.施策、教育等	男	60	障害者手帳をカード化、またはマイナンバーカードに紐付け してほしい。
2.施策、教育等	女	50	障害は、程度や内容が一人一人違うので一律に線引きする 事は難しいが、「他の人と比べて苦手な事やできない事があ る」としか認識していない自分としては、「法整備しなければ ならない社会」がある時点で偏見が強いのだと感じた。 いつ誰でも障害を持つことはあり得るわけで、障害の有無 にかかわらず適材適所で能力を発揮できる社会づくりが好ま しいと考える。「苦手な事やできない事」を補う環境、「得 意な事」を生かしやすい環境や、多様な雇用制度が浸透する 事を願う。因みに私の母は足が悪いが、歩行能力（筋力）維 持のため立ち仕事しており、78歳になった現在も現役。こ ういった本人の努力も、環境づくりには必要だと思う。

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.施策、教育等	男	70	子どもの発達障害が増加しています。これに対する小学校、中学校の教育が重要と思います。これには教師がしっかり勉強し、理解と親との対話が重要と思います。（子どもにより障害の程度、内容が異なります。このため学校からの教育の押し付けでなく、親との対話が重要と思います。）地域の理解、支援も必要と思います。
2.施策、教育等	男	70	7月14日に日本でもゲサラ法が発布したと聞いていますが、20項目全てが少しずつ実施に移されると思います。それによってメドベッドが導入されれば、身体的・精神的に障害を持つ人の数は激減すると思われます。その上で、改めてどのような福祉を行なっていくのか、話し合っ実施していくのが良いと思います。
2.施策、教育等	男	70	施策を繰り返すことが必要だと思う。特に高齢者に対して。
2.施策、教育等	女	40	<p>自分の子どもが知的障害児です。地域の小学校に入学させましたが、その時の担任が、特別支援学級の教師でありながら、ひどい対応をしてきて、大変不愉快でした。後に、校長から当該教師に厳重注意がなされ、当方に謝罪がありました。</p> <p>教育の場での共生というのは、もちろん難しい面があるのは承知していて、苦勞をかけて申し訳ないと思い、一生懸命やってくれる教師の方には感謝の気持ちでいっぱいです。現実には、そうではない教師もいます。しかし、教師がそれをはなから諦めていたら、子ども達に「共生社会」を教えることはできないと思います。教師の教育をしっかりしてほしいです。</p>

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.施策、教育等	男	40	障害の有無に関わらず、開かれた街にするのは必要と思いますが、障害があっても無くても、運動能力・知識・経済力などによりできることやできないことがあります。今自分ができないことをやりたいと考えるなら、それに向かって努力するか、諦めるか。それは自分自身の判断なので、公金を使用して一部の人だけを過剰に救うのは不公平だと感じる。
3.意識、啓発等	男	80	障害者を特別扱いをせず、普通に接してあげること。私は、自治会長として健常者と障害者の扱いに多少悩んでおります。
3.意識、啓発等	男	70	障害者に対する理解や差別解消に向けた研修や啓発活動に、積極的に取りこんでいただけたらと思います。
3.意識、啓発等	男	70	障害福祉課の活動情報を広報等でPRする。
3.意識、啓発等	女	70	施設のPR、福祉に対する取り組みのPR
3.意識、啓発等	男	70	障害者施設の近所にいますが、顔合わせした時やすれちがう時には、なるべく笑顔でおおきな声で挨拶するように注意しています。
3.意識、啓発等	女	50	当事者にしかわからない困り事も多々あると思うが、周囲の人間が少しでもそれを「知ろう・わかって」とする気持ちがあることで、今後（未来）に違いが出ると考えます。
3.意識、啓発等	女	70	障害のある人に寄り添ってみて、理解して、初めてその人がわかる気がします。外見からの判断では、どうして良いのかわからないので、障害のある人とふれあったり、声かけが出来る場所があると、コミュニケーションがとれ、手伝いなど、お互いがどうしてあげたら良いか、してもらったら良いかなどがわかるので、教えていただけるような場所を作ったら良いと思います。 障害のある子どもさん達にも、どんどん外に出て行ってほしいです。
3.意識、啓発等	女	70	障害のある人が毎日生活をする為に、何が必要か、また、不足しているかを聞き、できる事は対応してほしいと思います。
3.意識、啓発等	男	70	相談窓口の周知方法が少ないのではないかな？

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.意識、啓発等	男	70	障害者の意見や要望を健常者にも多く発信していただき、健常者がどんなボランティアができるのかを考える場を設けていただければベスト！！例えば…地域・学校などでの障害者講習を増やす。
3.意識、啓発等	女	70	障害がある方に何かできればと声掛けをしたところ、冷たくあしらわれた事がある。障害のある方への接し方の難しさを思い知った。
3.意識、啓発等	女	60	普段の生活の中であまり関わることはないのですがよく分かりませんが、以前と比べると、就労の機会や活動できる場が増えてきているのではないかと思います。しかし、まだまだ少ないのではないのでしょうか？障害があるなしに関わらず、地域の中で色々に関わることで理解が進むと思いますので、機会が増えればいいと思います。
3.意識、啓発等	男	70	障害者と接触する機会がありません。
3.意識、啓発等	女	70	健常者が気軽に声かけや手助けができる社会環境、障害を持っている方も気軽に声出しができる社会になるようにしてほしいです。
3.意識、啓発等	男	70	障害者の暮らしやすさの調査結果から、地域として何に留意が必要か？地域各団体に出前講座をお願いします。
3.意識、啓発等	男	40	障害のある人への理解を深める機会が少ない。講習会、後援会、親睦を深める行事などが身近にあれば参加したい。
3.意識、啓発等	女	60	障害を持つことで、人生を前向きに考えて生きていけるようになればと思う。誰もが、かわいそうな人だと思われることは嫌だと思ふ。どんな状況でも、自分の人生を後悔せずに生きていくことが大事なのだと、子どもの時から知る必要があると思ふ。福祉の教育は、思いやりや助け合いを超えて、誰もが一度限りの自分の人生を誇りを持って生きていくことが大事だという基本を教えてほしいと思ふ。

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.意識、啓発等	男	40	田舎ではやむを得ないのもわかるが、まだ実際の障害者の数よりも目にする数が少ないと思う。これは外国人差別やLGBT差別とも似ており、コロナでの必要以上の県外の人に対する差別的扱いでも感じた。いくら補助金等で対等な環境を整えても、彼らに対する一般市民の意識を教育で変える事が最も大切だと思う。
3.意識、啓発等	男	40	障害者施設は郊外に建設する慣習になっていると思います。多くの市民に障害者について理解してもらうためには、市の中心地などにも障害者施設を建設したり、障害者の方が良く利用する施設、スポーツ施設などを設置し、交流等を図ってはと思います。
3.意識、啓発等	男	50	<p>関係する皆さんはそれぞれの立場で頑張っておられると思っています。障害とは様々な様態や取り巻く環境の違いがあり、また、その状況も常に変化し続けています。</p> <p>そんな中で完璧を目指すことは困難なことだとは考えていますが、老化や怪我、妊娠、乳幼児、疾病などで様々な社会的に支援が必要な方々が、住みやすいと感じることができる社会や地域は、誰もが住みやすい地域なのだと考えています。大変なのは理解できますが、たとえ「こんなことしか」であっても、「こんなことでもできる」ということを積み重ねていってください。</p> <p>また、色んな立場の人達を巻き込んで、より多くの人達が当事者として感じるようになるのを目指して考えています。</p>

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.意識、啓発等	女	60	<p>工学部通りで、いつも車椅子で移動をしている若い青年を見かけます。坂で「押しましようか」と声をかけたこともあります。電動車椅子ならもっと行動できるだろうにと思い、福祉課に相談したことがあります。本人からの要望でないとい何もできないと言われました。もっと地域の福祉委員などがそういう方と接して、いろいろアドバイスをしてあげたりするといいいのにと思いました。</p> <p>私自身、地域の福祉委員をしています。もっと困っている方に目を向けなければと思います。</p>
3.意識、啓発等	女	70	<p>個人の意識も随分変わってきたと思うので、少しずつ差別のない社会にしていくしかない。</p>
3.意識、啓発等	男	60	<p>非常に残念なことではあるけれど、一般的に人はそれが何であるにせよ、我が事として真剣に捉えることがほとんどできない。せいぜい同情するくらいである。ただ同情は、自分が当事者でなくてよかったという思いが透けて見える。人が本来、自然界でその集団を維持するために異質な者を排除してきたという悪しき集団主義が見え隠れしており、人としての進化と真価が問われることを自覚しなければならないのだが、いかんせん人間はまだまだ愚かであり、障害を持つということが個人個人の顔が違う程度の違いでしかないことを実感をもって認識できるまでは、障害者の方々と触れ合う場面を地道に増やしていくしかないのかと思います。</p>

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.意識、啓発等	女	60	<p>障害のある方と触れ合ったことが無い。「お手伝いが必要かな？」という場面でも、同情されたくないという声も聞き、要・不要のタイミングがわからないので、「お手伝いしましょうか？」と声を掛ける勇気がなかなかできません。本人から「手伝ってください」と要請があれば、いくらでもやる気はあるのですが…。</p> <p>最近は、痴漢対策に「痴漢です、助けてください」と音声が出るアプリがあるようです。障害のある人もスマホ保有率は高そうなので、「お手伝いが必要です、お手伝いをお願いします」などの音声アプリがあれば、それを聞いた人は誰でも手伝いやすくなると思います。</p>
3.意識、啓発等	男	70	<p>あまり身近に障害者の方々との交流がない為、現状として何が必要なのか、また、生活していく上での公的及び私的な支援があるのか分からない。もっと啓蒙すべきと思います。特に教育現場で。</p>
3.意識、啓発等	男	80	<p>障害者差別解消法の理解を深めるために、講習会等の機会をもう少し広める必要があるように思います。</p>
3.意識、啓発等	女	50	<p>障害をお持ちの方やその方々に携わる方のご意見をよく聞いてほしい。</p>
3.意識、啓発等	女	50	<p>障害者の方がもっと身近になるような行事などがあれば、もっと色々な人たちが関心を持てるのではないかと思います。</p>
3.意識、啓発等	女	60	<p>ボランティアとして、障害者支援活動に参加しています。少しずつですが、障害者に対する合理的配慮について、認知度も向上していると思います。</p>
3.意識、啓発等	男	70	<p>年のせいでなられた障がい者(視覚・聴覚・肢体)に対しては、普通に話ができるが、先天的というような人には、接する機会が少ないためか身構えてしまうような気がする。</p>

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.意識、啓発等	女	60	住みよい、差別のない街作りを実現する為には、個人の意識の向上が大切だと思います。できるだけ広めるよう、イベントや啓発にとりこんでいきたいものです。
3.意識、啓発等	女	50	私は、講座や講習を受けた事がきっかけで障害者や福祉に関心を持つようになり、微力ながらボランティアにも挑戦してみるようになりました。何か少しのきっかけで、こんな風に行動できる方が1人でも増えると思うのですが…。
3.意識、啓発等	男	60	法律云々に拘わらず、人として、できることはやっていく様な環境、雰囲気作りを積極的に更に進めていくことが重要だと思います。こういう事に性格的に躊躇しがちな人は多いと思います。そういう心のバリアを取り除いていくことを推進してほしいと考えます。
3.意識、啓発等	女	60	母が難病で咳が出ることがあり、病院、歯科医院、お店など、今の時期、特に咳に関して差別があり、病院の待合で咳が出ると、あからさまに嫌な顔をされたり、席を移動されたりする。歯科医院では、難病と知りながら、母が咳をし始めると受付の方がすぐに窓を開けていました。かわいそうでした。この咳は難病の咳ですからと目が合う人に言って回りましたが、なかなか理解されず冷やかかで、悲しくなりました。安易に主観で差別はしてはならないと思います。障害者、難病などの方は、大きなバッジをつけてむやみに差別されないようにしてほしいですね。
3.意識、啓発等	男	80	特にないが、気長な改善活動が必要。
3.意識、啓発等	女	50	障害者と健常者の交流の場があるとよいと思います。
3.意識、啓発等	男	40	障害について知る機会が増えると良い。障害を持つ方と過ごす機会が増えると良い。
3.意識、啓発等	女	50	月並みですが、障害者が自立できる社会になってほしい。
3.意識、啓発等	男	50	障害者は大切な人です。

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.意識、啓発等	男	70	<p>障害には、身体的な障害や精神的な障害があると思う。車椅子使用など外見で判断できる場合の対応は実施しやすいが、精神的な障害など内面的なものの対応は難しい。</p> <p>車椅子対応の設備改良は少し進んでいると思いますが、点字ブロックの新設などはほとんど見られないし、点字ブロックの上に品物を並べたりしているのが散見される。スーパーなどの駐車場には、障害者用のスペースが確保されているが、健常者の方が駐車しているのも見かける。</p> <p>安易に救急車を呼ぶとか、本当に必要な場合に支障をきたすと言われていています。学校や地域社会で人権学習などが開催されているが、いろんな機会に啓発活動を進めていく必要がある。</p>
3.意識、啓発等	男	30	<p>知識を得る機会が少ないです。また、当人との交流が、偏見なく接するために一番有効だと思います。</p>
3.意識、啓発等	男	70	<p>少しずつ福祉施策は改善されているとは思いますが、もっと障害者の意見を取り入れる場をもって、困っていることを取り除くことができればいいと思います。</p>
3.意識、啓発等	男	70	<p>私には、障害者の定義がよく理解できていない。四肢や眼、耳の障害がある人はある程度わかるが、精神障害に関しては程度の差異が大きく、第三者にはわかり難い。差別と区別もどこに線引きがあるのか？「合理的配慮」も曖昧な概念だろうと思う。セクハラも相手に不快な思いさせると該当し、全く同様な行動でも相手が好感を持つ場合には該当しない様です。水に恐怖心を抱いている子への水泳授業の強要は？基本は思いやりの心配りなのでしょう。</p>

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.意識、啓発等	女	50	障害を持った方が、そうと感じずに生活できる環境からは程遠いように感じます。福祉対策というより、もっと一緒に活動できる場を増やすなど、環境改革が必要なのではと思います。
3.意識、啓発等	男	50	障害者の方の意見を、今よりももっと聞いてあげられるようになるとういと思います。
4.その他	男	60	障害者福祉だけでなく、難病患者の福祉も考えてほしい。 (新聞記事の添付あり『難病患者に登録者証 利便性向上対象100万人超 厚労省方針』)
4.その他	女	40	暮らしやすい、まちになるといい。
4.その他	女	40	娘がこの春から総合支援学校に通ってます。軽度の知的障害で、身体的な障害ではありませんが、療育手帳を取得した事で路線バスの無料パスを発行していただきました。お陰で部活がある日は1人で路線バスで帰ってこれます。ありがとうございます。
4.その他	男	50	障害者は大事です。
4.その他	男	70	今回のアンケート内容は、障害者本人に問うような設問があり、答えに困る項目もあった。
4.その他	男	60	アンケート内容についての意見はないです。ただし、台風接近により避難所開設準備の中でのメール配信は、いかがなものか検討する必要があると思います。
4.その他	男	70	今まであまり関心を持っていなかった為、参考にならなかったと思います。
4.その他	女	40	虐待防止法ができ、健常者はかなりやりにくい！健常者のが住みにくい世の中だ。

◎ 宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
4.その他	男	50	<p>本アンケートに伴い、事前にウェブサイトのpdfをざっとみた。ページ数が多かったので、本当にざっと。</p> <p>障害者の方（車椅子）が、雪のなか裸足で移動されるのを車上より何度も目にしたが何もできない。障害者の方に上から物をおっしゃる方もみたことがある。どうすれば住みよい町になるのでしょうか。</p>
4.その他	女	70	<p>私は今スペシャルオリンピックでボランティアをしています。この活動を初めて知りました。色々なスポーツで障害者の方が活動されています。</p>
4.その他	男	30	<p>宇部空港に建設予定の公園では、バリアフリーの遊具も導入されるようなので期待しています。</p>
4.その他	女	70	<p>身近にその存在がなく、つい無関心になっており、どのような施策があるのかも知らないなので、コメントできる立場がありません。</p>
4.その他	女	40	<p>身近に障害を持った人がいない場合、自分自身が関心を持って情報収集しなければ、福祉施策について知らないことが多すぎる。</p>
4.その他	女	60	<p>よくわかりませんが、身体障害だったら色々な場所で動けない。人の手を借りるところがまだまだ多いので。だが、五体満足で頭が他の人と違う方が、親族の世話なしに歩き、車に向かって声を掛け、歩く人に付きまとい、本当に恐いです。そういう障害者の対策はないのでしょうか。</p>
4.その他	女	70	<p>問9で、宇部市が障害者にとって暮らしやすい所だと思われるようにと切に願います。市民として、さりげなく目配り、心配りができたらと思います。</p>